

ここより沢は平凡となった。そのうち水もなくなって、岩場となる。これを登った所が尾根であった。

(記・)

[タイム] 出合・吊橋(8:00)→右俣
出合(8:30)→中俣出合(8:50)→尾根(12:15)

きたのこ沢 中俣(下降)

1983年8月27日

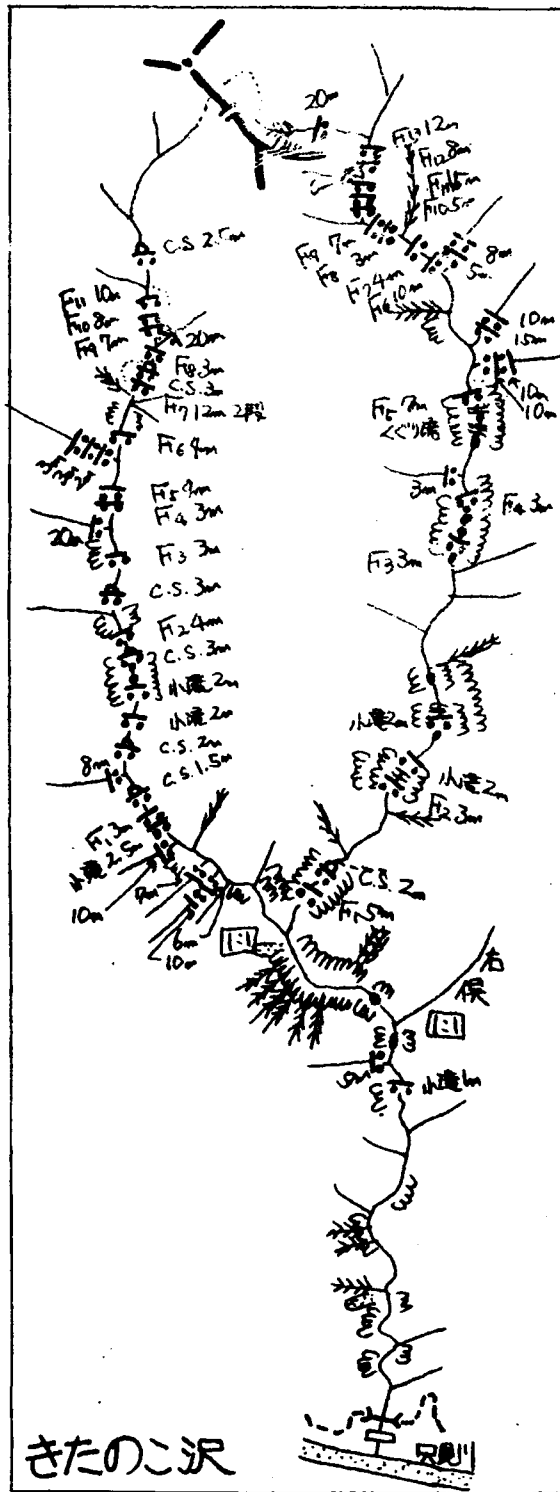
L:

12:30 下降開始。中俣に向けてⅢ級ほどのスラブをブッシュを頼りに降りる。20mの滝を下って本流へ。

左俣が平凡だったのとは反対にこの中俣は、滝が連続して出てきた。源頭のスラブといい、今度この沢に入ることがあったら、ちゅうちょなく中俣を登って、左俣なり右俣なりを下ることにしたいと思う。

まずF13 12mの左岸をアップザイルにて下る。F12はクライミングダウンしたが、F11は右岸よりを懸垂下降。下が釜なので、へつってからザイルを回収する。

沢が直角に曲がる所にかかるF10とそれに続くF8は、1本のザイルで一気に降りてしまう。F8はクライミングダウン。F7 4mを過ぎ、F6もまた右岸をアップザイルにて降りる。F5は水に入るのがイヤ



で、左岸を捲いて下る。この下はゴルジュとなってナメとカマがある。F4は右岸をへつり、続くカマは水の中へジャブジャブ入って通過する。このあとしばらくは平凡な沢歩きが続いた。

やがて右岸に岩罅が現われ、チョック滝とF1が出てきた。これを過ぎると二俣。左俣との出合で、今朝方遡行してきた所を吊橋まで下って、沢から上がる。

(記)

[タイム] 下降開始(12:30)→左俣出合(16:25)→吊橋(17:00)

中ノ沢

1983年8月28日

上田ダムから只見川左岸の道を歩いて出合につく。7:10遡行開始。

出だしからゴルジュとなり、小滝がかかる。4m。左岸をシャワーで越える。最初のゴルジュに滝はこれ1つきりでその上のチョックストーン滝を越えると、沢は明るくなった。

それもつかの間、すぐまた第2のゴルジュとなる。ここのゴルジュには小滝が続く。まず出だしの2mはシャワーで突破。中程の5mは右岸の草付を登る。難しい滝というのではないのだが、次々と小滝が出てくる。

続く第3のゴルジュも同様に小滝が続くが、ここの最後には10mの滝が待っている。登れるかもしれないと思ったが、安全にやろうということで、右岸を捲いて上に出る。

左岸からルンゼを合わせた先にもまたゴルジュが出てきた。ここの圧巻は連続する2つの10m滝である。登れそうにないので捲くことにするが、右岸のいやな草付、距離にして2m程の間が少しやっかいだった。上の10m滝は左岸ブッシュ帯を捲く。

これでこの沢の核心部は終わった。左岸から支流を1本合わせた後小滝をいくつか越えると、平凡な沢筋となって、しばらく続く。9:10水量も極端に減り、完全に源流のよそおいとなってきた所で、カモシカの足跡のいっばいついた支沢に入って、867mピークをめざす。

(記)

[タイム] 出合(7:10)→沢終了(9:10)→尾根(9:40)

久保沢(下降)

1983年8月28日

L